

# Sustainability Management Plan

---

Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa  
Version 1.0 – 2026 年 1 月

## 概要 (Overview)

Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa では、持続可能性を事業運営の中核に統合しています。当社の持続可能性管理計画は、Green Globe 認証基準および Accor のグローバル・サステナビリティ・ガイドラインに整合するよう設計されています。

本計画は以下の 4 つの柱に基づいて構成されています。

- 持続可能性マネジメント
- 社会的・経済的責任
- 文化遺産の保全
- 環境管理

このアプローチにより、当社はゲスト満足度と環境的・社会的責任のバランスを取りながら、施設、地域社会、そして地球環境に対して長期的に前向きな影響をもたらすことを目指しています。

## 1. 持続可能性管理計画の構築 (Sustainability Management Plan Setup)

当社の持続可能性管理計画は、Green Globe 認証基準に準拠しながら、環境、社会、文化に関する配慮を事業運営に統合することを目的としています。

本計画は、明確な目標設定、継続的なパフォーマンスモニタリング、主要ステークホルダーとの連携を重視しており、持続可能性を日常業務および戦略計画の両方に組み込むことを目的としています。

また、本計画は以下の取り組みへの当社のコミットメントを示しています。

- 地域経済の支援
- 文化遺産の保全
- 的を絞った施策による環境負荷の最小化

当社は継続的改善と倫理的実践の文化を育成することで、地域社会に対して前向きな影響を与え、地域固有のアイデンティティを尊重し、将来世代のために環境を保護することを目指しています。

## a) 持続可能性マネジメント (Sustainability Management)

### 導入 (Introduction)

持続可能性マネジメントは、当社の事業運営におけるコミットメントの基盤です。当社は、明確な持続可能性目標を設定し、パフォーマンスを継続的に監視し、国際的な基準を満たす、またはそれを上回るための改善を継続的に実施しています。

### 計画概要 (Plan Summary)

グリーンチームが設立されており、持続可能性への取り組みを推進し、定期的な監査を実施し、Green Globe 認証基準に照らしてパフォーマンスをレビューする役割を担っています。

当社は、Accor のガイドラインへの遵守状況を、継続的なモニタリング、四半期ごとのレポート、および年次レビューを通じて追跡しています。

このグリーンチームは、各部門責任者(HOD)と密接に連携し、持続可能性が日々の業務および戦略計画プロセスに確実に組み込まれるよう取り組んでいます。

当社は継続的改善の文化を育成することで、意思決定プロセスに持続可能性を統合し、持続可能性目標がより広範な事業目標と整合していることを保証しています。

各部門の具体的な目標は定期的に見直され、これらの目標を達成・強化するために必要なリソース、ツール、トレーニングが提供されています。

## 2. ステークホルダーエンゲージメント (Stakeholder Engagement)

ステークホルダーエンゲージメントは、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性の取り組みにおいて、極めて重要な要素です。

当社は、宿泊客、従業員、サプライヤー、地域社会、オーナー、規制当局など、事業に関わる主要なステークホルダーを積極的に関与させることにより、すべての関係者に共有される持続可能性のビジョンを構築することを目指しています。

ステークホルダーエンゲージメントは、単に透明性と信頼を高めるだけでなく、当社の持続可能性への取り組みが包括的であり、地域および世界の優先事項と整合し、当社が影響を与える人々のニーズおよび期待に応えるものであることを保証します。

---

当社のステークホルダーエンゲージメントに対するアプローチは、協働とコミュニケーションを基盤としています。

当社は、それぞれのステークホルダーグループが、持続可能性に対して独自の関心、懸念、そして貢献の形を持っていることを認識しています。

例えば、宿泊客は、滞在中の行動を通じて環境への影響を軽減する上で重要な役割を果たすことができます。一方で、地元サプライヤーは、サプライチェーンを短縮することにより地域経済を支え、二酸化炭素排出量の削減に貢献しています。

あらゆるレベルの従業員を持続可能性への取り組みに巻き込むことにより、当社はオーナーシップと責任感を育み、従業員がアイデアを提供し、主体的に行動することを可能にしています。

同様に、地域社会および規制当局と連携することで、当社の事業活動が地域の法律や文化的価値観を遵守するだけでなく、地域の発展にも貢献することを目指しています。

---

意義あるステークホルダーエンゲージメントは、潜在的な課題への早期対応にも役立ちます。

サプライヤーやパートナーとのオープンな対話により、当社はサプライチェーンの混乱を予測し、持続可能性目標に沿った解決策を見出すことができます。

また、宿泊客および従業員からフィードバックを収集することにより、当社は持続可能性への取り組みを継続的に改善し、より前向きな体験と成果を生み出すための調整を行うことが可能となります。

---

Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa は、体系的なステークホルダーエンゲージメントを通じて、長期的なパートナーシップを構築し、持続可能性におけるイノベーションを推進し、当社の取り組みが効果的かつ包括的であることを保証することを目指しています。

---

### 3. リスク管理 — はじめに (Risk Management – Introduction)

リスク管理は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性戦略の基本的な構成要素です。

持続可能性という分野は、常に変化し続ける動的な環境に置かれており、当社が環境目標および事業目標の双方を達成する能力に影響を与える可能性のあるリスクを特定し、評価し、軽減することが不可欠です。

効果的なリスク管理を行うことにより、当社の持続可能性への取り組みは強靱性と適応性を備え、課題を克服しながら、事業活動およびステークホルダーに対する潜在的な悪影響を最小限に抑えることが可能となります。

---

当社のリスク管理に対するアプローチは、積極的かつ包括的であり、以下のようなさまざまな側面におけるリスクの特定に重点を置いています。

- 環境リスク
- 運用リスク
- 財務リスク
- 規制リスク
- レピュテーション(評判)リスク

---

#### 環境リスク

気候変動や資源の枯渇といった環境リスクは、当社が持続可能に事業を運営する能力に大きな影響を及ぼす可能性があります。

例えば、異常気象は山沿いに立地する当リゾートに対して脅威となり得ます。また、水資源の不足は、当社の資源管理体制に影響を与える可能性があります。

これらのリスクを事前に予測することにより、当社は環境保護へのコミットメントを維持しつつ、長期的な事業継続性を確保するための緊急時対応計画を策定することができます。

---

## 運用リスク

運用リスクも同様に重要であり、サプライチェーンの混乱、インフラの制約、技術的な障害など、当社の持続可能性への取り組みを阻害する可能性のある課題が含まれます。

具体的には、以下のようなリスクが想定されます。

- サプライヤーが持続可能性基準を満たさないリスク
- 主要な施策の実施が遅延するリスク
- 廃棄物管理および省エネルギーシステムの機能不全

これらのリスクを定期的に評価することにより、当社は適切な管理体制およびバックアップ対策を整備し、持続可能性プログラムの有効性を維持します。

---

## 財務リスク

財務リスクには、新しい持続可能性技術の導入に伴うコストや、エネルギー価格の変動などが含まれます。

当社は、これらの財務リスクを詳細な予算編成および将来予測を通じて慎重に管理しています。

当社は、持続可能性施策に必要な初期投資と、エネルギーや水の消費削減、効率性向上といった長期的なコスト削減効果とのバランスを取ることで、持続可能性と経済パフォーマンスの双方を支える、合理的かつ情報に基づいた財務判断を行っています。

---

## 規制およびコンプライアンスリスク

規制およびコンプライアンスリスクは、地域、国家、国際レベルの環境関連法規、および進化し続ける業界基準を綿密に監視することにより管理されています。

これらの規制を遵守しなかった場合、金銭的な罰則、業務の中断、あるいは企業イメージの低下といった深刻な結果を招く可能性があります。

そのため、当社の持続可能性管理計画には、法令遵守を確実にし、あらゆる法改正に迅速に対応するための、定期的な監査およびレビューが組み込まれています。

---

## レピュテーションリスク（評判リスク）

特に消費者意識が高まっている現代において、レピュテーションリスクは極めて重要な要素です。

宿泊客、地域社会、パートナー企業の期待に応えられなかった場合、当社のブランドイメージおよび顧客ロイヤルティが損なわれる可能性があります。

当社は、透明性の高いコミュニケーションとステークホルダーとの積極的なエンゲージメントを通じて、これらのリスクを管理しています。

これらのリスクに早期に対応し、オープンな対話を維持することにより、当社は信頼関係を構築し、長期的な関係性を強化しています。

---

## 結論（リスク管理章まとめ）

以上のように、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa におけるリスク管理フレームワークは、当社の持続可能性施策を多様な潜在的脅威から保護するために設計されています。

当社はリスクを積極的に特定、分析、軽減することで、持続可能性プログラムの強靱性を確保し、環境への配慮と事業継続性の双方に対するコミットメントを維持しています。

綿密な計画、継続的なモニタリング、柔軟な適応を通じて、当社は長期的な持続可能性目標の達成に向けて、さまざまな課題を効果的に乗り越えていきます。

## 4. コミュニケーション戦略 (Communication Strategy)

効果的に構築されたコミュニケーション戦略は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性施策の成功において、極めて重要な役割を果たします。

明確で一貫性があり、かつ透明性の高いコミュニケーションを行うことで、宿泊客、従業員、サプライヤー、地域社会など、すべてのステークホルダーが当社の持続可能性目標を理解し、それに共感し、主体的に関与することが可能となります。

当社は、自社の取り組み、成果、そして持続可能性の重要性を効果的に伝達することにより、共通の責任意識を育み、環境および社会の健全性に向けた集団的な行動を促進します。

---

当社のコミュニケーション戦略は、ステークホルダーの特性に応じた多様なチャネルとメッセージを通じて、あらゆる層とのエンゲージメントを実現するよう設計されています。

社内においては、経営層から現場スタッフに至るまで、すべての従業員が持続可能性への取り組みについて十分に理解し、かつそれを推進できるようにすることを目的としています。

定期的な研修、持続可能性ワークショップ、チームミーティングを通じて、持続可能性は組織文化の中核的価値として定着し、意思決定および日常業務を導く指針となっています。

これらの社内コミュニケーションは、従業員一人ひとりにオーナーシップと責任感を生み出し、持続可能性が「誰かの仕事」ではなく「全員の責任」であることを明確にしています。

---

社外においては、当社のコミュニケーション戦略は、宿泊客、サプライヤー、地域社会、規制当局に対する認知向上と関与促進に重点を置いています。

宿泊客に対しては、客室内の案内資料、デジタルプラットフォーム、体験型コンテンツなど、さまざまな接点を通じて当社の持続可能性施策を伝え、ゲスト自身が参加できる行動を促しています。

具体的には、客室内でのエネルギー・水使用削減の啓発から、地域のエコツアーへの参加促進まで、多様な取り組みが含まれます。

宿泊客を単なる受動的な消費者ではなく、当社の持続可能性の旅における「パートナー」と位置付けることで、体験価値を高めると同時に、環境配慮行動を自然に促進しています。

---

サプライヤーおよびビジネスパートナーも、当社のコミュニケーション戦略において重要な役割を担っています。

当社は、定期的な対話を通じて、サプライヤーが当社の持続可能性目標と整合していることを確認し、Green Globe 認証基準の達成を共に目指しています。

明確で透明性のあるコミュニケーションにより、課題への対応、協働によるイノベーションの創出、環境負荷の低減および地域経済への貢献が可能となります。

---

地域社会もまた、当社のコミュニケーション戦略における重要なステークホルダーです。

当社は、地域フォーラムへの参加、アウトリーチ活動の実施、地域団体との協働を通じて、地域住民が当社の取り組みを理解し、恩恵を受けられるよう努めています。

これらの活動を通じて、当社は地域との関係性を強化し、地域の価値観や優先事項と整合した形で事業運営を行っています。

---

当社のコミュニケーション戦略において特に重要なのは「透明性」です。

当社は、成功事例だけでなく、課題や未達成事項についても率直に共有することで、ステークホルダーとの信頼関係を構築しています。

エネルギー使用量、水使用量、廃棄物削減、地域貢献といった主要指標については、ウェブサイト、SNS、サステナビリティレポートなどを通じて定期的に公開しています。

このような透明な情報開示は、当社の信頼性を高めると同時に、持続可能性への責任を明確にし、長期的なロイヤルティの醸成につながっています。

---

## 結論（コミュニケーション戦略）

以上のように、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa におけるコミュニケーション戦略は、ステークホルダーの関与を促進し、説明責任を果たし、持続可能性施策の成功を支える重要な基盤です。

多様なステークホルダーに応じたメッセージ設計、透明性の確保、主体的な参加の促進を通じて、当社は共有された持続可能性ビジョンを構築し、地域および社会全体に対して持続的な価値を提供しています。



## 5. 研修および能力開発 (Training and Capacity Building)

研修および能力開発は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spaにおいて、持続可能性を事業運営の中核に統合するための重要な要素です。

従業員に対して、持続可能性施策を推進するために必要な知識、スキル、ツールを提供することで、当社は、単に業務を遂行できる人材ではなく、環境および社会的責任に深くコミットした人材を育成しています。

これを実現するために、当社の研修および能力開発プログラムは、人材・組織開発部門(Talent & Culture)の全体方針と整合するよう設計されており、従業員育成のあらゆる側面に持続可能性が組み込まれています。

---

Talent & Culture 部門は、このプロセスにおいて中核的な役割を担っており、既存の学習・開発プログラムの中に持続可能性を統合しています。

これにより、部門や役職に関わらず、すべての従業員が持続可能性の重要性と、それが日々の業務にどのように関係するのかを理解できるようになっています。

新入社員のオンボーディングから、管理職向けのリーダーシップ開発プログラムに至るまで、持続可能性の原則は従業員のライフサイクル全体を通じて強調されています。

このアプローチにより、当社は継続的な学習文化を育み、従業員が主体的に持続可能性目標の達成に貢献できるよう支援しています。

---

当社の持続可能性研修は、以下の主要分野に重点を置いています。

- エネルギーの節約
- 廃棄物の削減
- 水資源の管理
- 生物多様性の保全
- 倫理的行動

各研修モジュールは、理論だけでなく、実務での活用を重視した内容で構成されており、従業員が自身の役割においてどのように持続可能性を実践できるかを具体的に理解できるよう設計されています。

例えば、キッチンスタッフは Winnow を用いた食品廃棄物管理について研修を受け、ゲスト対応スタッフは宿泊客に持続可能性施策を伝え、参加を促す方法について学びます。

これらの実践的な研修により、持続可能性は特定部署の取り組みではなく、全従業員の日常業務の一部として定着しています。

---

当社の能力開発施策は、技術的スキルの習得にとどまらず、リーダーシップとイノベーションの育成にも重点を置いています。

従業員は、自部門における持続可能性施策に主体的に関与し、新たな改善案を提案することが奨励されています。

リーダーシップ開発プログラムでは、意思決定および戦略立案における持続可能性の重要性が強調されており、将来の管理職層が長期的な持続可能性目標に向けて組織を導けるよう支援しています。

---

これらの研修を支えるため、当社は以下のような多様なツールおよびプラットフォームを活用しています。

Accor 社の「School for Change」オンライン研修プラットフォームは、持続可能性および気候変動に関する最新の学習コンテンツを提供しており、従業員が世界的なサステナビリティ動向とベストプラクティスを継続的に学べる環境を整えています。

さらに、外部のサステナビリティ専門家や社内トレーナーによる現地ワークショップや研修も定期的に実施され、理論と実践を組み合わせた学習機会を提供しています。

---

能力開発は、正式な研修だけでなく、実際の活動参加を通じても促進されています。

従業員は、植樹活動、地域貢献プログラムなど、持続可能性に関連する実践活動への参加が奨励されています。

これらの活動は、研修内容を実体験として定着させるだけでなく、従業員の誇りや当事者意識を高め、持続可能性が企業文化として根付くことに貢献しています。

---

研修および能力開発プログラムの有効性を確保するため、当社は継続的なモニタリングおよび評価を実施しています。

従業員からのフィードバックを定期的に収集し、研修内容の妥当性や実務への影響を検証し、必要に応じて内容を改善しています。

これにより、研修プログラムは常に実態に即したものとなり、事業運営および Green Globe 認証、Accor グローバル方針の双方と整合した形で進化し続けています。

---

### 結論（研修および能力開発）

以上のように、研修および能力開発を人材育成プログラムに組み込むことは、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性の成功に不可欠です。

従業員に知識、スキル、実践の機会を提供することで、当社は持続可能性を単なる理念ではなく、日常業務として定着させ、組織全体で継続的な改善と長期的価値創出を実現しています。

## 6. 技術統合 （Technology Integration）

技術は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性への取り組みを推進する上で、変革的な役割を果たしています。

革新的なツールやプラットフォームを活用することにより、当社は環境パフォーマンスをより高い精度と効率性で測定、管理、改善することが可能となっています。

持続可能性管理計画に先進技術を統合することで、当社はデータに基づいた意思決定を行い、資源利用を最適化し、持続可能性施策を拡張可能かつ効果的なものとしています。

このようなデジタル変革は、Green Globe 認証の達成および Accor グローバル・サステナビリティ方針との整合に不可欠な要素です。

---

当社の技術統合の中核を成しているのが、「Gaia 2.0」という包括的なレポーティングおよび分析プラットフォームです。

Gaia 2.0 は、リゾート全体におけるエネルギー消費量、水使用量、廃棄物発生量、二酸化炭素排出量などの主要な持続可能性指標を測定・監視するために設計されています。

このリアルタイムのデータ収集により、当社は明確な目標設定、進捗管理、改善点の特定が可能となっています。

Gaia 2.0 から得られるデータを分析することで、当社は資源消費の削減、廃棄物の最小化、環境負荷の低減に向けた運営戦略を継続的に最適化しつつ、高水準のゲストサービスを維持しています。

---

もう一つの重要な技術が、キッチン業務に導入されている「Winnow 食品廃棄物管理システム」です。

Winnow の高度なセンサーおよび分析機能により、当社は食品廃棄量をリアルタイムで測定し、廃棄の原因を詳細に把握することが可能となっています。

このシステムは、食品廃棄を 30%以上削減することに貢献しており、コスト削減と持続可能性目標の両立を実現しています。

Winnow から収集されたデータは、当社の総合的なサステナビリティレポートに統合され、廃棄物管理施策の全体像を把握するための基盤となっています。

---

Gaia 2.0 および Winnow を活用し、各部門における持続可能性の取り組みを強化しています。

これらのツールにより、従業員は簡単に報告を行うことができ、持続可能性への説明責任と透明性が向上しています。

---

技術統合のもう一つの重要な要素が、Accorlive イン트라ネットです。

このプラットフォームは、持続可能性に関するリソース、ツール、ベストプラクティスを集約した中央データベースとして機能しています。

従業員はここから研修資料、事例研究、グローバルガイドラインにアクセスでき、組織全体で共通の理解と方向性を共有しています。

---

## 結論（技術統合）

以上のように、Gaia 2.0、Winnow などの技術を統合することで、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa は、持続可能性分野において先進的な取り組みを実現しています。

これらの技術は、意思決定の質を高め、運営効率を向上させ、環境負荷を削減するための重要な基盤となっています。

技術統合は、当社の継続的改善、イノベーション、そして長期的な持続可能性目標達成への強いコミットメントを示すものです。

## 7. 財務的考慮事項 (Financial Considerations)

財務的考慮事項は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性管理計画の重要な構成要素です。

持続可能性への取り組みは、環境保全および社会的責任へのコミットメントによって推進される一方で、長期的な経済的持続性を確保するため、財務目標とも整合していなければなりません。

持続可能な実践は大幅なコスト削減につながる可能性がある一方で、新技術導入、従業員研修、業務プロセスの調整などにおいて初期投資を必要とします。

そのため、適切な財務計画および予算配分は、持続可能性施策の成功と継続性を左右する重要な要素となります。

---

当社の持続可能性管理計画における財務戦略は、短期的な支出と長期的な財務的利益のバランスを取ることを目的としています。

エネルギー効率の高い設備、水資源節約技術、廃棄物削減プログラム、サステナビリティ認証への投資は、時間の経過とともに大きなコスト削減効果をもたらすと期待されています。

例えば、省エネルギー照明、自動化システム、スマートメーターの導入により、光熱費が削減されます。

また、Winnowのような食品廃棄管理ツールにより、食品ロスが削減され、仕入れコストおよび運営コストの低減が実現されます。

これらの削減効果を活用することで、当社は持続可能性投資に対してポジティブな投資回収率(ROI)を創出することを目指しています。

---

財務面で特に重要なのが、インフラ更新および技術統合に向けた設備投資(CAPEX)の適切な配分です。

太陽光発電設備、省エネルギー冷却システム、廃棄物管理インフラの導入など、大規模な資本投資が必要となるプロジェクトについては、詳細な費用対効果分析を実施しています。

これにより、環境効果と財務効果の双方が高いプロジェクトを優先的に実施し、持続可能性目標と財務健全性の両立を図っています。

---

運営コスト(OPEX)についても、持続可能性施策に関連する継続的支出が適切に管理されています。

これには、設備の保守、研修費用、パフォーマンスモニタリング費用などが含まれます。

これらのコストは通常の運営予算に組み込まれており、持続可能性施策が一過性のものではなく、長期的に維持される体制が構築されています。

---

当社はまた、持続可能性施策に対する財務的インセンティブの活用についても積極的に検討しています。

政府補助金、税制優遇、再生可能エネルギー導入に対する助成金などを調査し、可能な限り活用することで、初期投資負担の軽減を図っています。

さらに、Green Globe 認証などのエコラベル取得は、環境意識の高い旅行者を惹きつけ、ブランド価値を高め、結果として収益向上にも寄与します。

---

持続可能な実践は、コスト削減だけでなく「コスト回避」の観点でも大きな意義を持っています。

廃棄物削減、水資源保全、エネルギー効率向上により、資源の無駄や規制違反、環境破壊に伴う将来的な罰金や修復費用を回避することが可能となります。

例えば、廃棄物を適切に管理することで処理費用が削減されるだけでなく、環境規制違反による罰則リスクを低減できます。

---

当社は、持続可能性を競争優位性の源泉とも捉えています。

環境意識の高い旅行者が増加する中、持続可能性に積極的に取り組むリゾートとしてのブランドポジションは、宿泊需要の増加、価格プレミアムの実現、顧客ロイヤルティの向上につながります。

これらの要素は、結果として長期的な収益性向上に寄与します。

---

さらに、当社の財務的考慮事項は、地域経済への波及効果も重視しています。

地元サプライヤーの活用、地域雇用の創出、コミュニティベース観光の推進を通じて、地域経済の持続可能性にも貢献しています。

これにより、当社と地域社会の間に相互に利益をもたらす長期的パートナーシップが構築されています。

---

持続可能性施策の財務的健全性を確保するため、当社は継続的な財務トラッキングおよび報告体制を整備しています。

定期的な財務レビューを通じて、コスト効率性および投資効果を評価し、必要に応じて戦略の見直しを行っています。

財務および環境パフォーマンスに関する主要業績指標(KPI)を統合的に管理することで、当社は変化する経済環境や運営課題に柔軟に対応しています。

---

### 結論（財務的考慮事項）

以上のように、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における財務的考慮事項は、持続可能性施策の成功に不可欠な要素です。

初期投資と長期的利益のバランスを取り、財務インセンティブを活用し、継続的な財務管理を行うことで、当社は環境・社会的責任と経済的持続性を両立させています。

### 8. 法令および規制遵守 (Legal and Regulatory Compliance)

法令および規制遵守は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性管理計画の中核的な柱の一つです。

日本で事業を展開する当社は、環境関連法規、労働関連法規、ならびに観光・宿泊業界固有の基準など、幅広い国内外の法制度の適用を受けています。

これらの法規制を完全に遵守することは、法的リスクの回避にとどまらず、倫理的で責任ある事業運営を実現し、地域社会および自然環境の長期的な健全性を守る上で不可欠です。

---

近年、日本における環境保護に関する法制度は大幅に強化されており、持続可能な開発に対する国家的な取り組みが反映されています。

当社の持続可能性施策は、これらの法的要件と直接整合しており、周辺地域の生態系と調和した事業運営を実現しています。

---



## 廃棄物管理および環境遵守

環境遵守の中でも特に重要なのが、廃棄物管理に関する法令遵守です。

日本の法律では、事業者に対して廃棄物の適切な分別、リサイクル、埋立量の最小化など、責任ある廃棄物管理が義務付けられています。

Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa では、Winnow 食品廃棄物管理システムなどの先進的ツールを導入し、法的要件を満たすだけでなく、業界水準を上回る取り組みを実施しています。

定期的な内部監査および報告体制により、当社は廃棄物管理状況を継続的に把握し、改善点を特定しています。

---

## 水資源管理および排水処理

水資源管理は法令遵守の観点からも極めて重要です。

当社は、節水対策、排水処理、水質保全に関する国家および地方規制を遵守し、排水は必ず法的基準を満たした状態で処理した上で自然環境へ放流しています。

これにより、地下水や環境への悪影響を防止し、地域全体の水資源保全に貢献しています。

---

## エネルギーおよび温室効果ガス排出

エネルギー効率および温室効果ガス排出削減も、法令および規制遵守の重要な分野です。

当社は、省エネルギー技術や再生可能エネルギーの導入を通じて、目標の達成に貢献しています。

また、定期的なエネルギー監査を実施し、法定基準を満たすだけでなく、Accor のグローバル基準を上回る水準を目指しています。

---

## 労働法および労務管理

環境法規に加え、労働関連法規の遵守も当社の事業運営において極めて重要です。

当社は、労働基準法に基づき、賃金、労働時間、健康・安全、福利厚生などに関する法的要件を厳格に遵守しています。

すべての従業員に対して、公正な待遇、安全な労働環境、平等な雇用機会を提供することは、法令遵守であると同時に、Accor の国際的な人権・労務方針とも整合しています。

また、地元雇用を優先することで、地域経済の発展にも貢献しています。

---

## 労働安全衛生（OHS）

労働安全衛生に関しても、日本の法規制を厳格に遵守しています。

定期的な安全研修、職場点検、事故防止措置の実施により、従業員の安全確保と職場環境の改善を継続的に行っています。

これにより、労働災害の防止だけでなく、安定的で持続可能な事業運営が実現されています。

---

## 観光業および建築・土地利用規制

観光業に関する規制遵守も重要な分野です。

当社は、宿泊客の安全、衛生基準、サービス品質に関するすべての観光関連規制を遵守し、国際的にも高水準のホスピタリティサービスを提供しています。

また、建築および土地利用については、自然環境との調和を重視した施設設計を行っています。

---

## 国際認証およびグローバル基準

Green Globe 認証は、当社に対して国際的な持続可能性基準への遵守を求めています。

持続可能な運営、社会的・経済的影響、文化遺産保全、環境保護といった分野における厳格な基準を満たすことで、当社は国際的なベストプラクティスに沿った運営を実現しています。

---

## 結論（法令および規制遵守）

以上のように、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における法令および規制遵守は、持続可能性管理計画の根幹を成す要素です。

日本の環境法規、労働法規、観光関連法規、ならびに国際的なサステナビリティ基準を遵守することで、当社は法的リスクを回避するだけでなく、社会的信頼性と持続的価値創出を実現しています。

## 9. ベンチマーキングおよびベストプラクティス (Benchmarking and Best Practices)

ベンチマーキングおよびベストプラクティスの採用は、Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa における持続可能性管理計画の中核的要素です。

Accor グループの一員として、当社は測定可能な目標設定、進捗モニタリング、社内外の優良事例からの学習を通じて、持続可能性パフォーマンスの継続的改善に取り組んでいます。

ベンチマーキングは、エネルギー消費、水使用量、廃棄物削減、二酸化炭素排出などの主要指標について、Accor 本社が設定する年間目標と比較評価を行うプロセスです。

これらの指標は当施設の立地条件、インフラ、宿泊客特性を考慮してカスタマイズされており、実態に即した改善指標となっています。

また、Accor グループ内の他施設との比較分析を通じて、成功事例や革新的手法を導入し、持続可能性施策の高度化を図っています。

---

## 10. フィードバックおよび改善 (Feedback and Improvement)

フィードバックおよび継続的改善は、当社の持続可能性管理計画の根幹を成す仕組みです。

当社は、宿泊客、従業員、サプライヤー、地域社会などからの意見を体系的に収集し、Voice of Guest (VOG) やマネジメントカクテルイベントを通じて、実践的な改善に反映しています。

これらのフィードバックはグリーンチームおよび部門責任者によって分析され、具体的な改善計画として落とし込まれます。

改善施策は Gaia 2.0 等の指標管理ツールを用いて効果測定され、継続的改善サイクル (PDCA) が組織全体で回されています。

---

## 11. 影響測定および報告 (Impact Measurement and Reporting)

影響測定および報告は、当社の持続可能性施策の有効性を評価するための重要なプロセスです。

Gaia 2.0 および Winnow を通じて収集されたデータは、月次・四半期・年次レベルで分析され、エネルギー効率、廃棄物削減、地域貢献などの主要指標として可視化されています。

これらのレポートは経営層に共有されるとともに、社内外ステークホルダーへの情報開示にも活用され、透明性と説明責任を確保しています。

---

## 結論 (Conclusion)

Grand Mercure Yatsugatake Resort & Spa の持続可能性管理計画は、Green Globe 認証達成と長期的な企業価値創出を目的とした包括的フレームワークです。

ステークホルダーエンゲージメント、リスク管理、研修、人材育成、技術統合、財務管理、法令遵守、ベンチマーキング、フィードバック、影響測定という各要素を統合することで、当社は環境・社会・経済の三側面において持続可能な成長を実現しています。

本計画は単なる文書ではなく、日々の業務に組み込まれ、継続的改善によって進化し続ける「経営インフラ」です。